



こたけ

議会だより

第 177 号

平成20年1月1日

- 発行 小竹町議会
福岡県鞍手郡小竹町
TEL 09496-2-1967
FAX 09496-2-1140
- 編集 議会広報編集委員会
- 印刷 マツオ印刷株式会社



(議場：議員席側)

町制 80周年 特集号



(議場：議長・執行部席側)



特集号の発行に あたって

小竹町議会議長 野田 剛 敏

新年あけましておめでとございます

町民各位には、清々しく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昭和三年一月一日に町制を施行して、本年度で満八十年を迎えました。

この機会に長年にわたり本町振興のための諸施策をとられ、町発展に努力された先人各位の御苦労に対し、深く敬意を表するものであります。

町八十年の歴史の中で、最近の十年間を顧みますと、地方分権改革の推進における三位一体改革、市町村合併と地方自治体にとっては厳しい行政運営を強いられ、本町においても危機的な財政状況を踏まえ、行財政改革が推進されています。

小竹町議会は、平成十年十二月から議員定数十六名から十四名に、さらに議会自らが行財政改革を率先して進めるべきと、平成十八年十二月から十二名に議員定数を削減いたしました。

本町議会は、法定数と比べますと少数精鋭の部類にはいると考えますので、議員一人ひとりが積極的に研究、研鑽に励み、もって、議会機能の一層のアップに努めるとともに、「議会による住民意識の把握と行政への反映」をいかに的確かつ効率的に進めていくか、議会をあげて研究していかねばならないと考えております。

厳しい財政状況を克服して、住民のニーズを的確に把握し、「活力ある小竹町」を築くためには、行政と議会が一体となって、努めていかなければならないと考えております。

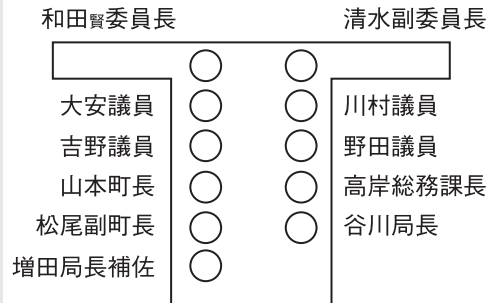
町制八十周年を記念した議会広報特集号の発行にあたり、「ふるさと小竹町」の限らない発展を祈念しましてあいさついたします。



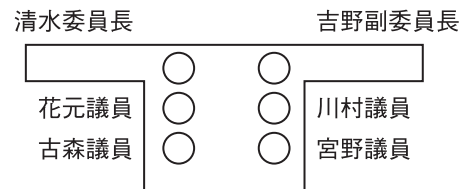
(昭和63年当時の議会風景)

委員会の構成

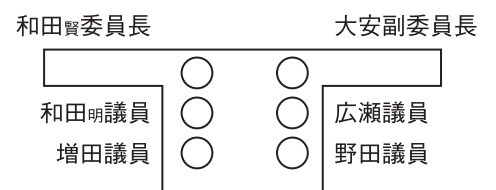
議会運営委員会



総務産建委員会



文教厚生委員会



現職議員紹介

任期：平成18年12月15日から平成22年12月14日まで 定数：12名



(平成18年12月20日撮影)

	花元 征雄	佐々木主任主事	高岸 局長	井上 係長	(後列右から)
松尾 助役	友清教育長	増田 義人	和田 明	古森 博司	(中列右から)
大安美 佐代	和田賢二郎	野田 剛敏	山本 町長	清水 渥美	(前列右から)
			川村与子吉	吉野 慎一	

過去8年間・議会を構成した議員各位

任期：平成10年12月13日から平成14年12月12日まで 定数：14名



林 局長	伊達収入役	野田 剛敏	川村与子吉	小林 文雄	友清教育長	須堯 係長	(後列右から)
	田代 助役	花元 征雄	白土 政敏	宮野 一男	大安美 佐代	塔野 泰治	(中列右から)
増田 義人	古森 博司	有尾 勝	山本 町長	杉村 幸保	和田賢二郎	佐藤 豪	(前列右から)

任期：平成14年12月15日から平成18年12月14日まで 定数：14名



野見山係長	伊達収入役	友清教育長	花元 征雄	和田 明	浅原 正樹	須堯 局長	(後列右から)
山本 主事	田代 助役	水谷日出男	大安美 佐代	宮野 一男	増田 義人	古森 博司	(中列右から)
川村与子吉	清水 渥美	有尾 勝	山本 町長	野田 剛敏	和田賢二郎	佐藤 豪	(前列右から)

年表 (町のあゆみ)

昭和3年～昭和53年



旧役場庁舎 (明治32年建設)



新庁舎 (昭和42年2月完成)



古河目尾鉱業所



老人憩いの家「若竹荘」



小竹幼稚園

年 月 日	主なできごと
昭和 3年 1月 1日	町制施行 (勝野村を「小竹町」に)
3月 1日	町制施行記念式典行われる
5年 6月14日	国広静氏町長に就任
12年 4月15日	町議会議員選挙、新議員24名誕生
13年 1月26日	町制10周年記念式典行われる
6月13日	町長選、国広静氏再選
17年 6月 1日	町議会議員改選、新議員24名誕生
18年 9月25日	町長に国広静氏再選
20年 11月25日	国広静町長辞任、後任に春孝一氏当選
21年 12月 5日	議長に増井徳光氏
22年 5月 1日	第1回知事・市町村長選挙 町長に春孝一氏当選 第1回都道府県・市町村議会議員選挙 小竹町議会議員定数26名当選 議長に野見山忠夫氏
26年 4月30日	町長・町議選・・・町長に春孝一氏当選 新議員26名誕生 議長に豊島国雄氏
30年 5月 1日	町長・町議選・・・町長に国広静氏当選 新議員26名誕生 議長に篠崎士郎氏
31年 2月25日	財政再整備調査特別委員会設置を可決 (昭和33年12月4日財政再建計画を完了)
32年 3月 1日	町営火葬場 (御徳) 設置を可決
33年 1月 1日	町制施行30周年
2月26日	敬老年金条例案可決 (30周年記念事業)
34年 5月 1日	町長・町議選・・・町長に国広静氏当選 新議員26名誕生 議長に石井栄氏
36年 9月30日	石炭合理化政策転換を決議
37年 10月20日	産炭地振興特別委員会を設置 議員減少条例案可決 (定数26名を22名に)
38年 4月30日	町長・町議選・・・町長に久保信氏当選 新議員22名誕生 議長に浅原透氏
42年 2月 6日	新庁舎竣工・移転、業務開始
4月30日	町長・町議選・・・町長に久保信氏当選 新議員22名誕生 議長に福川正行氏
43年 10月10日	町制施行40周年記念体育祭開かれる
44年 3月29日	議員定数減少条例案可決 定数22名を18名に 同和对策事業始まる
4月 1日	古河目尾炭鉱閉山
46年 4月30日	町長・町議選・・・町長に久保信氏三選 新議員18名誕生 議長に中野満氏
47年 9月30日	勝野工区 (小竹団地) 開発計画構想発表 小竹団地調査特別委員会設置
48年 3月31日	老人憩いの家「若竹荘」完成
48年 12月26日	小竹団地開発計画案、中曽根通算大臣認可
50年 4月 1日	町立小竹幼稚園開園 (送迎バス運行)
4月30日	町長・町議選・・・町長に久保信氏四選 新議員18名誕生 議長に高岡正美氏
53年 1月 4日	町制施行50周年記念式典行われる

昭和54年～平成3年



中央公民館



町民体育センター



児童体育館



御徳橋完成渡り初め



南良津排水機場

年 月 日	主なできごと
昭和54年 3月10日	新中央公民館、体育センター落成式
4月22日	町長・町議選・・・町長に久保信氏五選 新議員18名誕生 議長に藤本義夫氏
57年 3月10日	児童体育館完成 町制50周年記念事業
7月10日	西小学校現所在地へ移転完成
58年 3月10日	新御徳橋完成・・・渡り初め行われる
4月24日	町長・町議選・・・町長に田中一義氏当選 新議員18名誕生 議長に山根武氏
6月28日	町民野球場完成
9月24日	区長会から町議会議員の定数削減を求める 陳情書提出
10月 1日	議員定数調査特別委員会設置
12月22日	助役に堺正年氏・・・議会同意
59年 3月24日	「非核・恒久平和の町宣言」決議
60年 3月28日	収入役に塚原清美氏、再選に議会同意 行政改革推進委員会が発足 名誉町民第1号に久保信氏
61年 7月 8日	北小学校プール完成
9月30日	東幼稚園廃止のため小竹幼稚園増築
62年 2月 6日	本町議会だより写真の部、全国コンクール に入選
4月26日	町長・町議選・・・町長に田中一義氏当選 新議員16名誕生 議長に野田剛敏氏
63年 7月30日	町制60周年記念式典行われる
平成元年 3月24日	収入役に波多野一則氏・・・議会同意
6月22日	内水排除施設（南良津排水機場）完成
12月22日	J R 宮田線廃止
2年 10月 1日	平成筑豊鉄道「あかぢ駅」開業
3年 4月22日	町長・町議選・・・町長に野田剛敏氏当選 新議員16名誕生 議長に杉村幸保氏
5月 8日	助役に鎌田健一氏・・・議会同意
5月16日	鞍手郡町村議会議長会会長に杉村幸保議長 が再任



平成筑豊鉄道「あかぢ駅」





福岡県立小竹高等技術専門校

平成4年 ～平成9年



南良津川最下流の樋門



農産物直売所「愛菜の家」



農業集落排水污水处理施設



〈筑豊本線 ↔ 福北ゆたか線〉

JR篠栗線・筑豊本線の電化

年 月 日	主なできごと
平成4年 5月11日	町長野田剛敏氏の辞職願・・・議会同意
6月28日	町長に原賀節夫氏当選
7月13日	議長杉村幸保氏の辞職願・・・議会同意 議長に花元征雄氏選出
9月 1日	助役に小林三明氏・・・議会同意
12月23日	小竹団地造成工事一部着手 (国の認可から20年を経る)
5年 3月24日	収入役に波多野一則氏再任・・・議会同意
4月15日	福岡県立小竹高等技術専門校開校 鞍手郡町村議会議長会会長に花元征雄議長 就任
9月19日	小竹町政治倫理条例を可決
6年 4月 1日	飯塚市の火葬場の共同利用開始
5月30日	南良津川最下流の樋門が完成 勝野駅Sカーブも同時解消
9月29日	町長原賀節夫氏に対する辞職勧告決議案否決
10月27日	町長原賀節夫氏に対する不信任決議案可決、 町長原賀氏議会を解散する
12月 4日	町議会議員選挙行われる。16名。
12月15日	議長に花元征雄氏を選出 町長原賀氏に対する不信任決議案を可決
7年 1月29日	町長に山本康太郎氏当選
3月23日	助役に田代伸一郎氏・・・議会同意
5月29日	鞍手郡町村議会議長会会長に花元征雄議長 が就任
8年 4月 4日	農産物直売所「愛菜の家」オープン
11月12日	町道勝野長井鶴線の中央跨線橋 (御徳大橋からJR筑豊本線を跨ぐ)完成
9年 2月 1日	農業集落排水污水处理施設稼動
3月19日	収入役に伊達昌輝氏・・・議会同意
6月10日	福岡県町村議会議長会会長に花元征雄議長 が就任
7月23日	全国町村議会議長会理事に花元征雄議長就 任
8月27日	J R篠栗線・筑豊本線の電化事業着工

10年のあゆみ

平成10年～平成20年



町の花「ひまわり」

年 月 日	主なできごと
平成10年 1月10日	町制施行70周年記念式典を行う
6月19日	議員定数減少条例を可決 議員定数14名に
10月15日	町の花「ひまわり」に制定
12月13日	町長に山本康太郎氏当選
	町議会議員選挙行われる 14名
12月24日	議長に有尾勝氏を選出

年 月 日	主なできごと
平成11年 3月 8日	議長に花元征雄氏を選出
3月24日	助役に田代伸一郎氏再任・・・議会同意
3月31日	ライスセンター完成
6月14日	福岡県鉱業関係町村議会議長会会長に花元征雄議長就任
7月29日	全国石炭鉱業関係町村議会議長会会長に花元征雄議長就任
9月30日	鞍手郡町村議会議長会会長に花元征雄議長就任



ライスセンター



遠賀川中流浄化センター（直方市植木）



町内巡回バス「ひまわり号」

年 月 日	主なできごと
平成12年 3月 3日	遠賀川中流流域下水道事業着手
4月 1日	介護保険制度開始
	地方分権一括法施行
8月 1日	議会だよりに関するアンケート集計結果を公表
9月20日	小竹町活性化調査特別委員会を設置
9月27日	情報公開条例を可決
10月13日	教育長に友清實氏再任・・・議会同意



旧JR小竹駅

年 月 日	主なできごと
平成13年 3月19日	収入役に伊達昌輝氏を再任・・・議会同意
6月 7日	福岡県鉱業関係町村議会議長会会長に花元征雄議長就任
7月27日	全国石炭鉱業関係町村議会議長会会長に花元征雄議長就任
9月 3日	町内巡回バスひまわり号の運行開始
9月10日	議会テレビ放映開始
10月 6日	小竹駅・コミュニティーホール・自由通路完成 JR篠栗線・筑豊本線電化開業



新JR小竹駅



旧JR勝野駅

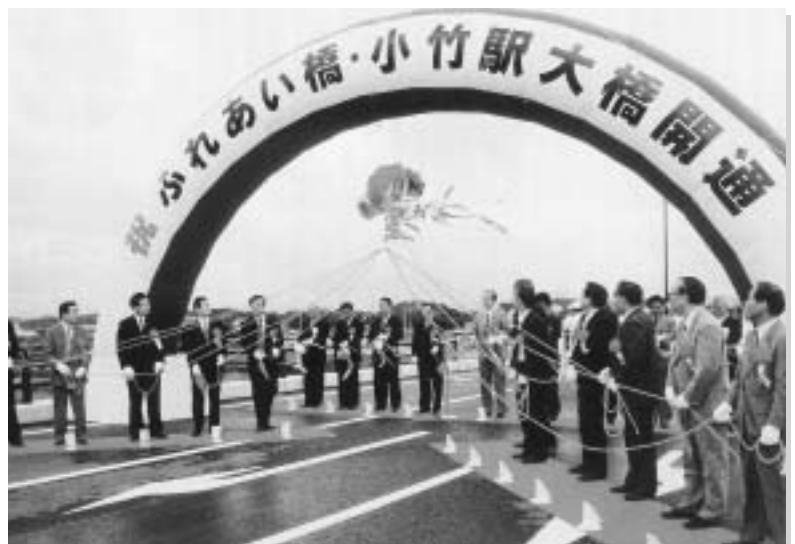


新JR勝野駅

年 月 日	主なできごと
平成14年 7月20日	ふれあい橋・小竹駅大橋開通
12月 1日	じん芥施設組合ごみ固形化燃料化施設操業
12月15日	町長に山本康太郎氏当選
	町議会議員選挙行われる 14名
12月16日	小竹駅エレベーター設置
12月24日	議長に野田剛敏氏を選出



宮若市外二町じん芥処理施設組合
ごみ固形化燃料化施設



ふれあい橋・小竹駅大橋開通



児童館

年 月 日	主なできごと
平成15年 3月20日	助役に田代伸一郎氏再任・・・議会同意
6月18日	直鞍合併協議会設置議案を可決 町長や議員の報酬・給与の減額条例を可決



直鞍合併協議会

年 月 日	主なできごと
平成16年 2月29日	南良津川鉦害復旧工事完成
4月 7日	児童館完成
6月24日	直鞍合併協議会廃止議案を可決 直鞍1市2町合併協議会設置議案を可決
9月21日	教育長に友清實氏再任・・・議会同意
12月22日	個人情報保護条例・職員倫理条例を修正可決
12月27日	直鞍1市2町合併協議会廃止議案を可決 公共下水道事業町内整備に着手



直鞍1市2町合併協議会

年 月 日	主なできごと
平成17年 3月31日	収入役制度の廃止
9月22日	議員定数調査特別委員会を設置
10月20日	助役に松尾勝徳氏・・・議会同意
12月27日	議員定数条例を一部改正・・・定数を12名に



小竹団地

年 月 日	主なできごと
平成18年 10月 1日	小竹団地に進出した企業の操業開始
12月15日	町長に山本康太郎氏当選
12月20日	町議会議員選挙行われる 12名 議長に野田剛敏氏を選出

年 月 日	主なできごと
平成19年 2月15日	教育長に須堯豊年氏・・・議会同意
4月 1日	助役制度の廃止、副町長に松尾勝徳氏
平成20年 1月 6日	町制80周年記念式典を行う



公民館まつり2007「南良津獅子舞」

◎主な特記事項

小竹団地について



■立地企業

①	福岡スプリットン工業株式会社
②	一井工業株式会社九州工場
③	太平洋工業株式会社九州工場
④	小竹化成株式会社
⑤	株式会社アーチ電工
⑥	株式会社兆栄モールド

●小竹町の将来を担う工業団地●

本町では、古河目尾炭鉱の閉山が決まった翌年の昭和四十五年、町の再生を期して「大型内陸工業団地造成」に取組み、二十数年の歳月を経て団地の完成を見ました。

平成十七年現宮若市のトヨタ自動車九州の増産に伴い、翌年十八年までに三社の企業が団地に相次いで進出しました。

この三社が平成二十年には、共に工場増設と各社百人近い雇用を図るというところで計画が進められています。しかし本町の現在の実情は、企業が求めているような数の人材（若者）は見当たりにません。当然に他町

からの雇用となります。

今後町の発展につながる道路などの基盤整備・定住人口増加のための下水道整備や宅地造成・新たな工業団地の造成などが不可欠であります。

ところが、現在町の財政は非常に厳しい状態にあります。

しかし小竹町には将来があります。

現在工業団地には六社の企業が立地し、近々、全団地に企業が張り付くものと思います。これらの企業が多くの収益を上げ、多くの税金を納め、一人でも多く

の社員を本町に定住させることが必要です。

そのため、小竹町総合計画の中で、将来人口一万人を目指し、居住環境の整備を進めることが、本町のまちづくりにおける最も重要な課題とされています。

町制八十周年を節目として、行政・企業・町民が一丸となり、小竹町に住んでいて良かったといわれる町を目指し、魅力と活気のあふれるまちづくりを実現するため、住民の皆さんと取り組んで参りたいと思っています。

(編集委員 吉野慎一)



(平成19年10月18日：総務産建委員会工場見学)

八十年の思い出

勝野二区 國房 昭三氏



町制八十周年おめでとうございます。

勝野村から小竹町へと町制が施行された昭和三年、私もこの世に生を受けました。昔を思い出して、ペンを走らせませ

私の子どもの頃から少年時代を振り返って見ますと、世の中は大変忙しい時代でした。昭和十二年に支那事変が勃発し、続いて第二次世界大戦と、私の少年時代、日本は戦争一色でした。

学生時代は、日本が米英に勝つためと教育を受け、毎日一生懸命働きました。勉強は無く、軍需工場や飛行場拡張工事など、学徒動員に駆り出されましたが、昭和二十年八月十五日に敗戦となり、本当に情けない思いをした記憶があります。その経験から、戦争は二度としてはならないと

感じています。

昭和二十八年の町制二十五周年、昭和五十三年の町制五十周年記念式典は、華華しくしく挙行されました。特に町制五十周年記念事業として、運動公園、体育センター、公民館建設が行われました。当時私は町の職員として勤務していたので、忙しい毎日でした。また、計画地の広大な山と谷の造成工事は、飯塚自衛隊の協力を得て竣工したことを思い出します。

昭和四十四年四月、古河目尾炭鉱は閉山になりました。多年にわたり町の隆盛を支えてきた目尾炭鉱でしたが、エネルギー革命により操業を中止、七十年の歴史を終えました。炭鉱隆盛の頃は二万人を超えていた人口も、現在では一万人を割り、さみしい町となり、若い働き盛りの青年は町外に出て行きます。また、子どもたちの遊ぶ可愛い笑い声もあまり聞かなくなりました。早く昔の活気ある小竹町になるように祈りながら、ペンを置きます。



町制七十周年を祝った平成十年から八十周年を迎える平成二十年、この十年間は

小竹にとっても社会にとっても大きく変化した時代ではなかったでしょうか。

平成の合併で新しい市町村がぞくぞく誕生し、我が町の周辺も、様変わりしました。しかし、残念ながら小竹町は自立の道を選ばなければなりません。

おりしも、三位一体改革で、地方交付税は削減され、厳しい財政のもとで歩んでいかなければなりません。

いかにこの町を守り、育てていかなければならないかと考えたとき、町民の皆様にも多大なご負担をおかけする以上、議会も自ら身を削るべく、議員定数の更なる削減と報酬のカットを行い、政務調査費も無しと決めました。

めでたく八十周年を迎えることが出来ましたが、小

竹町はこれからの数年間が正念場です。腹を据えてがんばっていきたい。

我が町は今、まわりを見渡せば、長い間放置されたままの陥落地は緑の田んぼにのみがえり、遠賀川にはふれあい橋がかかり、小竹駅や勝野駅も新しく生まれ変わって、鉄道も電化となりました。

企業の誘致で町全体にも明るさが増してきました。環境は確実に良くなったのに、心が落ち込んでばかりでは

いられません。

すべてを前向きに、前向きにとらえ、"ピンチこそチャンス"と存在感のある素敵な町を築いていきましょう。皆で協力、支え合い、周辺の地域から羨ましがられるコミュニティづくりを成し遂げ、大きく成長していきける場を与えてもらったと思えば楽しくなりません。

町の花、ひまわりのように明るくいつも顔をまっすぐにあげ、上へ上へと伸びて生きたいものです。
(編集委員長 大安美佐代)

議会広報編集委員会委員



(前列右から)

- 広瀬 早美
- 宮野 一男
- 野田 剛敏
- 大安 美佐代
- 吉野 慎一

(後列右から)

- 事務局
- 増田 厚一
- 谷川 龍児
- 佐々木 実